

平成23年度6月議会 一般質問項目

平成23年5月27日から6月27日の日程で、宝塚市議会第3回(6月)定例会が開催されました。いとう順一も、宝塚市議会議員として初めての一般質問を6月9日に実施致しました。下記が質問内容です。質問1・2に関しては残念ながら納得のいく回答は得られませんでした。

- 1 現状の宝塚市の財政状況について
 - (1) 財政状況に対する当局の認識と今後の見込みについて
 - (2) 財政状況改善に対する方策について
 - (3) 事業仕分けについて
 - (4) 自校炊飯の設備投資の凍結について
- 2 市長公約に対する進捗状況について
 - (1) 副市長・教育委員の公募制について
 - (2) 市立病院産婦人科の再開について
- 3 エネルギー施策について
 - (1) 新エネルギー活用の推進について
- 4 産業振興について
 - (1) 情報コンテンツ産業に対する投資について
 - (2) 関空・伊丹空港統合による宝塚市の取り組みについて
 - (3) 観光産業への考え方について
- 5 急増する独居老人の対策について
- 6 市民主体のまちづくりを促す方策について
 - (1) 市民参画の裾野を広げる方策について

選挙時に訴えさせていただきました
■議員報酬2割カット
■徹底的事業仕分けで無駄削減
■市職員給料15%カット
 の実現に向け今後も全力で頑張ります。

いとう順一 一般質問の様子は、83.5MHz FM宝塚
 7月14日(木) 14:40頃
 から放送予定です。
是非お聞きください!

市民及び専門家で構成される宝塚市行財政改革推進委員会の最終報告書が3月30日に宝塚市に提出されました。

「われわれ委員会がこれまでの審議のなかで幾度も強く感じさせられたのは、市の内部における危機意識の欠如である。財政の将来に対する切実な危機意識が欠落しているため、将来の財政的な困難に備えて「ちえ」を働かせようという意識と意志が、指導層を初めとして市の内部で共有されていないように思われる。市長とすべての市職員が宝塚市の財政の危機的な構造を認識し、自らの責任として将来にわたって市民に対して真に必要なサービスを安定、継続して提供していけるような強い財政構造を構築することを本委員会は強く望むものである。」

「宝塚市が享受してきた経済や社会の環境は既に変わってしまっているのである。もし、これまでと同じような認識と枠組みのもとで行財政運営を行っていくならば、財政が破たんし、市民、とりわけ将来世代、現在の子ども達に、必要な公共サービスを提供できないばかりか、過重な財政負担を負わすことは避けられない。」とあり、当局の危機意識の欠如と、財政改革待った無しの状況が報告されています。

いとう順一プロフィール

48歳 O型

学歴：1962年7月 宝塚市生まれ/めぐみ幼稚園/宝塚第一小学校/宝塚第一中学校/高司中学校(中学2年生時に新設のため転校)/兵庫県立宝塚高校/立命館大学経営学部卒

職歴：1984年大阪国税局に国税専門官として採用 尼崎税務署所得税課配属
 1987年大阪国税局退職・(有)阪神米油宝塚入社/現同社代表取締役

政治歴：2007年4月 兵庫県議会議員選挙 トップ当選
 2009年4月 宝塚市長選挙に伴う出直し選挙に出馬するも次点
 2009年10月～2011年1月 衆議院議員事務所長
 2011年4月 宝塚市議会議員選挙当選

家族構成：5人家族(妻・長男中学生・次男三男小学生)

座右の銘：『忠恕知略』日本資本主義の父、渋沢栄一氏の言葉
 誠実に相手の立場に立って物事を考え、日々知識を習得し、頑固になり過ぎないように生きるべきという言葉

いとう順一とつくる会 通信

いとう順一とつくる会 会員大募集!

- ・本会は「いとう順一」を囲み、社会的、文化的、政治的活動を支援することで、新しいまちづくりを推進することを目標とし、講演会、座談会、研修会、親睦会などを開催致します。 ・年会費は5000円です。
- ・いとう順一の政治姿勢・趣旨にご賛同頂ける方は、まずは電話・FAX・メール等でご一報下さい。



〒665-0033 兵庫県宝塚市伊子志 2-17-8-4F いとう順一とつくる会事務局
 TEL&FAX : 0797-72-2130 ✉tukuru@jito.jp